2　地理歴史・公民

学校番号	４１７

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	7 実教 311「高校日本史 B」新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時期や環境をイメージしながら、基本的な事柄を理解しましょう。
・歴史的事象の因果関係に注意して学習するようにしましょう。
・歴史的建築物や作品について、資料を活用し、実際に目で確かめてみましょう。

2　学習の到達目標

・日本史の展開を、世界史的分野に立って総合的に考察させる。
・日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追求している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的分野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的分野に立って追求し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	定期考査
	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 確認テスト
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
1学期	文化と国家の形成	・日本の旧石器文化 ・縄文時代の社会と文化	○	○	○	○	a:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、追求している。 b:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化から課題を見いだし、自然環境や大陸からの文化の影響と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:旧石器時代と縄文時代に関する遺物や写真等の諸資料を活用することを通して、人々の生活について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化についての基本的な事柄を自然条件の変化や大陸とのかかわりと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート
	文化と国家の形成	・弥生時代の社会と文化 ・小国の分立から倭国の形成へ ・ヤマト政権の形成 ・倭の五王とヤマト政権の勢力	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:弥生時代から古墳時代の社会の形成や人々の生活、国家の形成過程から課題を見いだし、東アジア世界の状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:弥生時代から古墳時代の遺物や中国史書などの諸資料を活用することを通して、社会の変化や国家の形成過程について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:弥生時代から古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程についての基本的な事柄を東アジア世界の状況と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート

	古代国家の確立	・飛鳥時代の政治と文化 ・古代国家の形成 ・律令の成立と白鳳文化 ・遣唐使と律令政治 ・奈良時代の社会と政治 ・国家仏教と天平文化	○ ○	 ○ ○ 	○ ○	 ○ ○ 	a:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに追究し考察した結果を適切に表現している。 d:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノート
2学期	古代国家の確立	・平安初期の政治と文化 ・摂関政治の確立 ・【主題学習】古代の土地制度 ・国風文化の成立	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	○	a:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて、多面的多角的に考察している。 c:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク 確認テスト

	中世社会の成立	・中世社会の土地制度 ・武士団の成立 ・院政と保元・平治の乱 ・平氏の繁栄と治承・寿永の乱 ・鎌倉幕府の成立過程 ・承久の乱と執権政治 ・地頭の荘園支配 ・農工業の発達と流通 ・蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退 ・鎌倉時代の仏教と文化 ・北条氏の専制と悪党	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:公領の性質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:公領の性質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化から課題を見いだし、公家政権・公家文化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:公領の性質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に関する文献、絵画、建築などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している d:公領の性質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク 確認テスト
3学期	中世社会の展開	・建武の新政と南北朝の内乱 ・室町幕府の確立 ・室町幕府の東アジアと日本 ・南北朝時代の文化と北山文化 ・室町時代の流通経済の発達 ・惣村と一揆 ・室町時代の衰退と戦国動乱 ・戦国時代の政治と社会 ・東山文化と地方への波及	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追及し考察した結果を適切に表現している。 d:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。